

福祉ロボットの開発プロセスを体験しよう！

講師：李根浩

7月13日（木）午後2時から4時まで、清武中学校で開かれた体験型進学就職イベント・学校版「ゆめパーク」に研究室のロボットを出展した。行った内容は、「福祉ロボットの開発プロセスを体験しよう！」と題して福祉ロボット開発におけるプロセスの一部を体験させた。具体的に、研究室にある福祉関連の三つのロボットを用い、「ボール回収ロボットの操縦性を検証する体験」、「歩行支援ロボットの移動量を計測する体験」、そして「起立着座の動きを検知する体験」の体験講演を行った。

参加した2年生はおよそ130人であったが、事前に希望調査を行い、この体験に興味のある学生67人を受け入れた。中学校ではこの講座を希望した学生を約14人ずつに4つの班に分けたため、この各班の学生に対して20～25分程度の体験を実施した。割り当てられた各班の体験時間が短いと思い、各班をさらに3組に分けて10分ずつロボットの開発体験をさせた。

この講座の希望者（67人）の中、女子学生は12人（18%）であった。ロボットと機械のテーマであるので女子希望者がすくないと想定していたが、多い希望者の数に驚いた。また体験した後学生から、

「ロボットの開発について仕事を知っていききたいなと思っているのでいい体験になった」

「将来大学に進学しておじいさんとおばあさんの散布を手伝うロボット開発の夢ができた」と感想を話していた。

